

学報

2016 年 9 月 Vol. 709



インドネシア政府教育省高等教育総局（DIKTI）
との懇談会を開催（8月29日）

土岐市と連携に関する協定を締結	01
平成28年度「岐阜県・国立大学法人岐阜大学連携推進会議」を開催	02
地域協学センターがNPO法人ORGANと観光地域づくりに関する協定を締結	03
オープンキャンパス2016を開催	04
医学部附属病院で第8回「全国でPUSH!運動」を開催	06
医学教育開発研究センター（MEDC）が第61回医学教育セミナーとワークショップを開催 ..	07
教職員の就労支援等を目的としたサマースクールを開催	08
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	
「平成28年度市民公開講座「がん薬物療法の最前線」」を開催	09
“The 5th UGSAS-GU Roundtable 2016”を開催	10
インドネシア政府教育省高等教育総局（DIKTI）との懇談会を開催	11
叙位・叙勲	12
外国人研究者の受け入れ	13
産官学連携の実施状況	14
メディア掲載一覧	16
主要日誌	20
人事異動（学内限定）	21

土岐市と連携に関する協定を締結

本学と土岐市は、8月2日（火）に連携に関する協定を締結した。

この協定は、本学と土岐市が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力のある地域社会の形成及び発展、未来を担う人材育成、並びに市民等の教育文化活動等の推進に寄与することを目的としている。なお本学が地方自治体と連携協定を締結するのは18件目である。

協定締結式では、加藤靖也土岐市長より「地方分権の進展により、多様な分野で一層のノウハウが必要になっている。総合大学である岐阜大学には、医療、教育関係をはじめ、多岐にわたる協力を期待している。」と、森脇学長からは「土岐市は農工業の質が高い地域。教育、産学連携、国際化というキーワードをもとに、これまで行ってきた連携活動を深化させ、とりわけ学生を地域で学ばせて頂く機会を拡大したい。」と挨拶があった。

今後、本学と土岐市は、防災・減災対策や、市民向けの生涯学習講座の開催、市内の小中学校教職員のための研修、教員志望学生の派遣機会の拡大等について取り組むため、協議を進めていく予定。



協定を締結し、握手を交わす森脇学長（右）と加藤市長

平成28年度「岐阜県・国立大学法人岐阜大学連携推進会議」を開催

8月5日（金）、本学において「岐阜県・国立大学法人岐阜大学連携推進会議」が開催された。

当会議は、平成20年3月28日に締結された「岐阜県と国立大学法人岐阜大学との連携に関する協定」において、知事や学長等が、横断的・総合的観点から協議を行う場として設置されたもので、協定締結以来、毎年継続的に開催されている。

今回は、古田 肇岐阜県知事や森脇学長出席のもと、地域防災力を強化するための方策や、岐阜県及び本学の今後の国際交流等について話し合いが行われ、防災については、両者が共同で設置している「清流の国ぎふ防災・減災センター」が中心となり、地域の防災を担う人材育成を一層推進することなどが確認された。



森脇学長からの挨拶



古田知事からの挨拶

地域協学センターが NPO 法人 ORGAN と観光地域づくりに関する協定を締結

地域協学センターと NPO 法人 ORGAN は、8 月 5 日（金）、観光地域づくりに関する協定を締結した。同法人は岐阜市を流れる長良川流域の観光地づくり推進に取り組んでいる。

本協定は、大学と NPO 法人とが、互いの人的資源等を活用し、相互の幅広い連携・協力関係により、長良川流域の観光地づくりに関する諸課題に取り組むことで、人材育成や新たな地域活力の創出に寄与することを目的としている。

なお、地域協学センターが NPO 法人と包括的な協定を締結するのは初めてのこと。

今後は、観光地域づくりに関する学生のインターンシップや、マーケティング及び戦略策定のための調査・研究、地域住民・団体と連携した地域の課題解決等について取り組むため、協議を進めていく予定となっている。



協定を締結し、握手を交わす益川地域協学センター長（右）と NPO 法人 ORGAN の蒲理事長

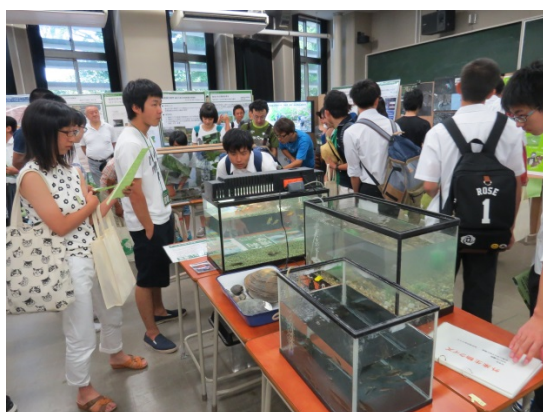
オープンキャンパス2016を開催

8月8日（月）、8月9日（火）、8月10日（水）に、オープンキャンパスを開催した。
3日間を通して6,032人の参加があり、盛況の内に終了した。

各学部では、学科（課程）の紹介、模擬講義、体験実習、施設見学や入試説明などを実施し、学部の特色を紹介した。

また、学生スタッフによる、キャンパス案内企画や、岐阜大生とのトークコーナー、やさ茶の試飲等、様々な催しが行われ、岐阜大学の魅力が伝えられた。





医学部附属病院で第8回「全国でPUSH！運動」を開催

8月8日（月）、本学医学部附属病院で「全国でPUSH！運動」が開催され、小学生を中心とした約50名の参加があった。

「全国でPUSH！運動」とは、全国44箇所で行う心肺蘇生法の普及を啓発する運動で、岐阜県では8月10日（ハートの日）を期して、附属病院を会場として開催された。

当日は、小倉病院長が開発した簡易心肺蘇生トレーニングキット「スクーマン」を使用した、胸骨圧迫やAEDの使用方法について体験型の指導が行われた。

主催者代表であるNPO法人岐阜救急災害医療研究開発機構の名知祥理事（本学高次救命治療センター医師）からは「毎年7万人の死亡者を出す心臓突然死に対しては一刻も早い救命活動が重要」と挨拶があり、参加者らは胸骨圧迫等の方法について、専門家の指導を受けながら熱心にトレーニングを行った。



熱心に胸骨圧迫の方法を学ぶ参加者ら



簡易心肺蘇生トレーニングキット「スクーマン」



名知祥医師（本学高次救命治療センター）

医学教育開発研究センター (MEDC) が第 61 回医学教育セミナーとワークショップを開催

医学教育開発研究センター (MEDC) は、8 月 19 日 (金) から 21 日 (日) の 3 日間にわたり、本学において第 61 回医学教育セミナーとワークショップを開催し、全国から計 118 名の参加者があった。

本イベントは、新しい医学教育法の開発と普及を図ることや、医療者教育の向上等を目的として、毎年 4 回、多彩なテーマを設定して開催されている MEDC の中核事業。

今回は、ワークショップのテーマとして、新専門医制度、授業方略、学習者評価、医療者のアイデンティティ形成、アクティブラーニング、模擬患者養成、ルーブリック評価等が取りあげられ、いずれも活発な議論が行われた。

セミナーでは、1 日目には、筑波大医療系地域医療教育学の前野哲博教授及び信州大医学部医学教育研修センターの多田剛教授の両講師から、それぞれの大学における診療参加型実習について講義があり、2 日目には、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの吉村仁志医師より「卒前・卒後医学教育での選抜におけるマルチプル・ミニ面接法」について講義があった。

また、当イベント中には、MEDC の医学教育共同利用拠点としての新事業である MEDC フェロー／アソシエイトの第 2 回認定証授与式も行われた。

全国からの参加者が、テーマに沿って議論や交流を深める大変有意義な機会となった。次回 (第 62 回) は、10 月 22 日～23 日の 2 日間、兵庫医科大学にて開催される予定。



活発な意見が交わされたセミナーの様子

教職員の就労支援等を目的としたサマースクールを開催

8月22日（月）～24日（水）、教職員の就労支援や、教職員の子供たちが夏休みを利用して保護者の仕事について理解を深めることを目的としたサマースクールが開催された。

22日（月）及び23日（火）は附属病院において「キッズサマースクール」が開催され、医学部や附属病院職員の子ら約50名の参加があった。期間中は、病院医師や学生ボランティアらの協力のもと、病理診断の体験や放射線機器の見学、医療機器の操作体験などが行われた。

23日（火）及び24日（水）は本学及び岐阜女子大学において、「カモミールこども大学」が開催され、両大学の教職員の子ら25名の参加があり、2つの大学を会場として、農場収穫体験やピザ&マヨネーズづくり等が行われた。

最終日には、参加した子供たち全員に修了証が手渡され、元気な声が飛び交う3日間が閉じられた。



「キッズサマースクール」で医師から内視鏡操作の指導を受ける子供たち



「カモミールこども大学」でマヨネーズ作りに挑戦する子供たち

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「平成 28 年度市民公開講座 -がん薬物療法の最前線-」を開催

8 月 27 日（土），本学サテライトキャンパスにおいて，東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「市民公開講座 がん薬物療法の最前線」を開催した。

当日は，大腸がん，多発性骨髄腫，乳がん，肺がんの薬物療法について講演が行われ，一般市民の方約 90 名の参加があった。

参加者からは，「専門家から最新の情報を分かりやすく聞くことができて良かった」といった感想が寄せられた。



会場の様子

“The 5th UGSAS-GU Roundtable 2016” を開催

大学院連合農学研究科（博士課程）は、8月29日（月）に、JR 岐阜駅前（のじゅうろくプラザ）において、南部アジア農学系博士課程教育連携コンソーシアム加盟校（南部アジア地域7カ国17大学）、インドネシア政府教育省高等教育総局及びオブザーバー1大学による「The 5th UGSAS-GU Roundtable 2016」（第5回農学系博士教育国際連携円卓会議2016）を開催した。

森脇学長の歓迎スピーチで始まり、加盟大学の副学長や若手研究者（主に本研究科修了生）等総勢91名の出席を得て、「農学系博士教育の質の保証と社会貢献の向上を目指す国際連携活動」の一環である「デュアル／ダブル PhD ディグリープログラム」と「サンドイッチプログラム」の進捗状況や、4大学に設置した共同実験室の使用状況等についての報告があった。

引き続き、オブザーバーとして出席した「ラオス国立大学」を当コンソーシアムに加えることについて合意を得た後、調印式が行われた。

最後に、国費優先配置プログラム学生6名が研究進捗状況報告を行い、一日の終わりにレセプションが開催され、加盟大学の教員と本学教職員や学生が交流を深めた。

また30日（火）及び31日（水）にはシンポジウムやエキシビションツアーも開催された。

3日間、いずれのプログラムにおいても南部アジア農学系博士課程教育連携コンソーシアムの将来に向けた活発な提案・意見交換が行われ、今後の更なる連携に向けて非常に有意義な機会となった。



参加者全員で記念撮影



森脇学長の挨拶



ボゴール農科大学ダハルール研究科長の挨拶



ラウンドテーブル会場の様子

インドネシア政府教育省高等教育総局（DIKTI）との懇談会を開催

大学院連合農学研究科は、8月29日（月）に、岐阜市内の「じゅうろくプラザ」において、インドネシア政府教育省高等教育総局（DIKTI）との懇談会を行った。

懇談会には、DIKTIからは、プルワント スブロト次長（Purwanto Subroto, Ph.D）、アドリアル レファディン氏（Adhrial Refaddin）、本学からは、森脇学長、鈴木理事（国際・広報担当）、千家連合農学研究科長、中野専任教員（連合農学研究科）及び光永連合農学研究科長補佐が出席した。

懇談では、インドネシアの大学との協働教育によるダブル PhD ディグリープログラムの構築に向けて活発な意見交換が行われ、また、現在インドネシア政府から奨学金を支援されている2名の学生から研究及び生活状況についての報告があった。

翌日の30日（火）には、連合農学研究科長室にて DIKTI とインドネシアからの留学生9名との懇談が行われた。

いずれも活発な意見交換が行われ、協働教育を一層進めるうえで非常に有意義な機会となった。



森脇学長と懇談するプルワント・スブロト次長



意見交換風景



学生の研究報告



学生の研究報告



インドネシアからの留学生との懇談



連合大学院棟前での集合写真

叙位

元本学職員に対し，次のとおり叙位があった。

故 名誉教授（元農学部長） 磯 貝 岩 弘 氏
正四位 （平成28年8月3日）

外国人研究者の受け入れ（8月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
応生	アブデルラーマン アブデルサタール Abdel-Rahman Abdelsatar エルサイド アボラワシュ Elsayed Abou-Rawash (エジプト)	ダマンフル大学獣医学部・ 教授 Professor, Faculty of Veterinary Medicine, Damanhour University	2016/8/1～ 2016/10/31	マレック病の病理学的研究 Pathological study on Marek's disease
工学	アリアディ ハズミ Ariadi Hazmi (インドネシア)	アンダラス大学・准教授 Associate Professor, Andalas Univeristy	2016/8/17～ 2016/8/31	雲放電によって誘発された負極性落雷に関する 研究 Characteristics of -CG preceded by IC-CG (Hybrid IC-CG lightning)

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成28年8月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	安部 力	ハイアマウント(株)
工学部	加藤 邦人	川崎重工業(株)
工学部	加藤 邦人	長野オートメーション(株)
工学部	河瀬 順洋	東洋電機製造(株)
工学部	木下 幸治	(株)興栄コンサルタント
工学部	木下 幸治	中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋(株)
工学部	上坂 裕之	ジャパンファインプロダクツ(株)
工学部	仲井 朝美	(株)岐阜セラック製造所
工学部	仲井 朝美	ダイキン工業(株)
工学部	松村 雄一	(株)豊田中央研究所
工学部	屋代 如月	トヨタ自動車(株)
工学部	吉田 佳典	トヨタ自動車(株)
応用生物科学部	北口 公司	岐阜県森林研究所
応用生物科学部	タンマウオン マナ スィカン	岐阜県森林研究所
応用生物科学部	長岡 利	(株)秋田屋本店
応用生物科学部	長岡 利	KISCO (株)
応用生物科学部	長岡 利	岐阜県中山間農業研究所
応用生物科学部	長岡 利	岐阜県森林研究所
応用生物科学部	早川 享志	岐阜県中山間農業研究所
応用生物科学部	矢部 富雄	アサヒグループ食品(株)
生命科学総合研究支援センター	近江 靖則	斗山電子(株)
総合情報メディアセンター	村上 茂之	(株)ハイテム

○受託研究

(平成28年8月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	吉田 和弘	(公財)がん研究会
工学部	小島 悠揮	LEMONA コンソーシアム (代表：東京大学)
工学部	出村 嘉史	東浦町
応用生物科学部	寺本 好邦	学校法人加計学園

流域圏科学研究セ ンター	栗屋 善雄	郡上市
流域圏科学研究セ ンター	廣岡 佳弥子	国土交通省

メディア掲載一覧

(平成28年8月分)

○新聞

掲載日	新聞名	内容
8月1日	岐阜	がん早期発見へ検診を 日本癌治療学会が市民講座 ～医学系研究科 吉田和弘 教授～
8月1日	中日	岐阜大、健康食品会社など 産学4社連携 女性研究者応援します 共同研究助成や育児者に補助員 ～林 正子 副学長～
8月1日	中日	従業員子育て試験 サービス業で推進 岐阜大で4日勉強会テレビ・ラジオ・雑誌等放送情報
8月2日	読売	「アグリビジネス」受賞者に助成金贈呈 大垣共立銀 【研究者部門】猪島 康雄 准教授
8月2日	岐阜	老舗旅館に「弟子入り」 外国人留学生が接客研修 ～地域科学研究科 1年 黄碧さん、2年 孫瑾さん～
8月2日	岐阜	◎研究室から大学はいま:「犬や猫のがん」治療法探る ～応用生物科学部挙動獣医学科 村上麻美 助教～
8月3日	中日	ぎふサイエンス・キャンプ 科学って楽しいよ アイデア出し「ピタゴラ装置作る」
8月3日	読売	理科好き児童集合 岐阜市で2泊3日のキャンプ 大学生から手ほどき
8月3日	岐阜	地域振興推進で連携 岐阜大が土岐市と協定
8月4日	中日	桁外れの珠算十段 岐阜の不破さん 9歳で最高位合格 ～教育学部附属小学校4年 不破花菜さん～
8月5日	中日	人材交流など連携協定結ぶ 土岐市と岐阜大
8月6日	岐阜	地域防災担う人材育成推進 県と岐阜大連携会議 ～清流の国ぎふ防災・減災センター～
8月6日	岐阜	留学生、県内工場を見学 大垣共立銀がバスツアー ～応用生物科学研究科2年 于海倩(中国)さん～
8月6日	岐阜	長良川観光振興で連携 岐阜大がNPO「ORGAN」と協定 体験通じ地域活力創出 ～地域協学センター 益川浩一 センター長～
8月7日	中日	インド工科大など合同シンポ初開催
8月9日	中日	学生落語 楽しんで 岐阜で19、20日「てんしき杯」
8月10日	岐阜	優れた人材、活躍例紹介 岐阜市で企業力強化会議
8月10日	中日	留学生 県内3社巡る 大垣共立銀が交流ツアー
8月11日	中日	実物大ヤギや馬 望月さん木彫展 岐阜大付属病院で ～医学部附属病院～

8月12日	中日	AED や蘇生法 小学生らに講習 岐阜大附属病院 ～医学部附属病院～
8月12日	岐阜	◎夕閑帳: 添い寝の風習 ～岩田弘敏 名誉教授～
8月13日	岐阜	次世代金型研究センター 岐阜大が開所祝う ～山下 実 センター長～
8月14日	中日	柳ヶ瀬愛恐竜に込め 地元の学生らが新企画
8月14日	朝日	小学校の英語教育, 成果は 導入 13 年目の岐阜市 自然に吸収できる授業を ～教育学部(英語教育学) 巽 徹 教授～
8月14日	中日	新拠点開所 150 人祝う 次世代金型研究センター ～山下 実 センター長～
8月15日	岐阜	「自然豊かで交通便利, 子育ても安心」 岐阜暮らし魅力満載 大学生と意見交換 ～ぎふフューチャーセンター～
8月15日	岐阜	岐阜大医学部合奏団が定演 ～医学部室内合奏団～
8月17日	岐阜	留学生に健康アドバイス 英語版ガイドを刊行 ～保健管理センター 山本眞由美 センター長～
8月17日	読売	防災対策 アプリで診断 備え無料で学べる 岐大工学部教授ら開発 ～工学部 高木朗義 教授, 東 善朗 研究員～
8月18日	中日	10 円玉の密度って!? 岐阜大 中学生科学探究ラボ ～教育学部 中村琢 准教授～
8月19日	毎日	大学生落語家 111 人話芸競う
8月19日	岐阜	野菜の芯, 魚の骨で料理 岐阜市でエコクッキング教室 ～教育学部 大藪千穂 教授, 柴田奈緒美 助教～
8月20日	中日	ジビエ商品 共同開発 ～応用生物科学部 森部絢嗣 特任助教～
8月20日	中日	算数・数学使い立体作り 岐阜大で小中学生向け教室 ～教育学部 河崎哲嗣 准教授～
8月20日	岐阜	◎夕閑帳: 岐阜信長場所の観戦 ～岩田弘敏 名誉教授～
8月20日	中日	遺伝子組み換え 器具を使い実験 岐阜大で高校生 ～生命科学総合研究支援センター～
8月22日	岐阜	家畜テーマに 10 月から講座 岐阜大, 受講生募る ～応用生物科学部～
8月22日	岐阜	学生落語家“真っ口勝負” 岐阜市で「てんしき杯トーナメント」 ～4年 鵜飼家とまと(本名 塚本怜子さん)～
8月22日	岐阜	熱いぞ 夏の好奇心 岐阜大で科学合宿
8月22日	岐阜	ジビエ商品開発へ連携 3高校が初会合 ～応用生物科学部 森部絢嗣 特任助教～
8月23日	中日	命救う親の仕事に関心を 岐阜大病院 小学生が職場体験 ～医学部

		附属病院～
8月24日	中日	七五三衣装でポーズ 伊奈葉神社 先取りショー
8月24日	岐阜	◎同窓会だより:岐阜大付属中学校(昭和54年卒業・岐阜市)
8月25日	岐阜	医師の仕事を“体験” 岐阜大病院 職員の子ども見学 ～医学部附属病院～
8月25日	中日	本年度から奨学金 大学生16人に証書 十六地域振興財団 ～教育学部1年 望月稚那さん～
8月26日	岐阜	◎夕閑帳:つば「涌泉」の力 ～岩田弘敏 名誉教授～
8月26日	中日	学生ら発案メニュー販売 メディコスで「ワールドフェスタ」 友好姉妹都市6か国 料理をアレンジ ～3年 兼子大輝さん～
8月27日	岐阜	新聞コラム続編を出版 岩田さん, 健康法紹介 ～岩田弘敏 名誉教授～
8月28日	岐阜	「岐阜羽島」熱く コストコ起爆剤, 開発加速 ～工学部 高木朗義 教授～
8月29日	岐阜	食料の分け方 住民らが議論 図上訓練 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 村岡治道 地域減災コーディネーター～
8月30日	読売	製造2社の現場 大学生らが見学 ～地域科学部1年 赤川拓巳さん～
8月30日	中日	産・官・学もサポート 任意団体立ち上げ ～地域協学センター 益川浩一 教授～
8月30日	岐阜	◎研究室から大学はいま:「計算」が現代社会の一助に ～工学部電気電子・情報工学科 草刈圭一朗 教授～
8月30日	岐阜	南アジアと農学連携 岐阜大など 7か国が国際会議 ～連合農学研究科～
8月31日	岐阜	地域防災の担い手を育成 岐阜大など, 講座開講 ～清流の国ぎふ防災・減災センター～
8月31日	岐阜	避難計画, 住民に解説 各地でタウンミーティング ～医学部 小林和成 准教授～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成28年8月分)

放送日	番組名	内容
8月8日	FM わっち「岐阜大学から こんにちは」 12:41～13:00	iCeMS 岐阜大学サテライト 木曾 真 特任教授、安藤 弘宗准教授、河村 奈緒 子研究支援員

8 月 9 日	ぎふチャン「Station!」 18:15～18:57	岐阜市と教育学部との消費者教育推進の連携に覚 書締結について
---------	--------------------------------	-----------------------------------

主要日誌

月 日	行 事 名
8 / 5	岐阜県・国立大学法人岐阜大学連携推進会議 代議員会(連農) 研究科委員会(創薬)
8	オープンキャンパス(教・地・医)
9	オープンキャンパス(看・応)、プチオープンキャンパス(教、地)
10	オープンキャンパス(工・応)